



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 タカセ株式会社
 コード番号 9087 URL <https://www.takase.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 笹岡 幹男

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,714	8.0	139	37.2	151	32.6	105	39.6
2019年3月期第3四半期	6,213	1.7	222	202.6	225	215.5	175	298.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 82百万円 (49.1%) 2019年3月期第3四半期 162百万円 (142.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	106.64	
2019年3月期第3四半期	176.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	10,428	6,206	59.5	6,244.71
2019年3月期	10,590	6,173	58.3	6,211.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,206百万円 2019年3月期 6,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		50.00	50.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	2.5	270	2.4	270	2.2	210	1.8	211.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,054,513 株	2019年3月期	1,054,513 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	60,644 株	2019年3月期	60,571 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	993,915 株	2019年3月期3Q	993,966 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来的予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善等に加え、消費税増税による駆け込み需要により景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、大型台風による被害や消費税増税後の個人消費の低迷、米中の貿易摩擦が長引くことによる世界経済への影響など、先行きはいまだ不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、我々の属する物流業界におきましては、国内貨物は、雇用環境の改善やオリンピックに向けた特需等を背景に、総じて個人消費が堅調に推移しましたが、製造業を中心とする出荷量減少や消費税増税後の消費低迷等、今後も予断を許さない状況にあり、国際貨物は、世界経済の減速を背景とした輸出総取扱物量の減少等の要因により低迷いたしました。

当社の物流ビジネスのコアとなる国内貨物市場は、Eコマース市場の伸張をはじめとして多様化・高度化する物流ニーズへの対応、軽油等の価格上昇にともなう燃料費負担増加に加え、ドライバーや作業員不足によるコスト上昇、長時間労働問題等への対応など、対処すべき課題は多く、取り巻く環境は引続き厳しいものとなっております。

このような状況の下、当社グループは、あらたに策定した「3ヵ年中期経営計画」にもとづき、成長軌道をさらに確固たるものとするために、物流技術や情報システムの強化により収益力の向上と期待利益を確保するという目標に沿い、新規顧客獲得への取組強化や新規サービスの構築等、さらなる業務拡大に向け注力いたしました。

当第3四半期連結会計期間においては、人手不足や最低賃金の上昇等で労務コストおよび運賃仕入コストの上昇傾向は続いているものの、新規顧客との取引開始や既存顧客の取扱業務拡大による業務量の増加、海外連結子会社4社の業績が継続して堅調に利益を積上げたことに加え、これまで取組んでおりました業務態勢の再構築による改善効果もあり、当第3四半期の経営成績は、営業収益および利益面ともに若干の回復基調が見られました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、新規顧客獲得および既存顧客との取扱業務拡大による営業収益増加が、メディア関連業務にかかる国内物流取扱および航空貨物取扱を中心とする輸出業務取扱の減少を補えきれず、前年同期間と比較して、8.0%減の57億14百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は、新規業務開始にともなう一過性の費用発生に加え、メディア関連業務にかかる国内物流取扱の減少に見合った業務態勢の再構築に時間を要したことから、前年同期間と比較して、37.2%減の1億39百万円となり、経常利益が32.6%減の1億51百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は39.6%減の1億5百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、新規顧客との取引開始や既存顧客の取扱業務拡大による業務量の増加のほか、輸入貨物取扱の増加があったものの、メディア関連業務にかかる国内物流業務取扱および輸出貨物取扱の減少により、営業収益が前年同期間と比較して8.3%減の56億34百万円となりました。また、営業総利益は、海外連結子会社4社が堅調に利益を積上げた一方で、営業収益が減少する中、業務態勢の再構築に時間を要したことが影響し、前年同期間とほぼ同額の7億59百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、既存取引の業務取扱が減少したことから、前年同期間と比較して12.2%減の2億61百万円となりました。また、営業総利益は、車両運行の効率化や燃料の仕入先見直し等によるコスト削減に努めたものの、燃料費の上昇に加え、営業収益減少による影響が大きく、前年同期間と比較して35.8%減の27百万円となりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っております。一部顧客への派遣人員減少に加え、国内物流業務取扱の減少により、営業収益が前年同期間と比較して9.1%減の7億16百万円となりました。営業総利益は、コスト削減に向けた業務の効率化を図ったものの、営業収益減少による影響により、前年同期間と比較して15.9%減の52百万円となりました。

(注) 上記営業収益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

A. 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、1億62百万円(1.5%)減少し、104億28百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が3億円減少したものの、流動資産の「その他」項目において80百万円、ソフトウェアの取得により無形固定資産の「その他」項目が43百万円増加したことによるものであります。

B. 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億95百万円(4.4%)減少し、42億21百万円となりました。

この主な要因は、短期借入金が2億15百万円増加した一方で、支払手形及び営業未払金が47百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億円、未払法人税等が69百万円、流動負債の「その他」項目において54百万円が減少したほか、長期借入金が66百万円、さらに退職給付に係る負債が38百万円減少したことによるものであります。

C. 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ32百万円(0.5%)増加し、62億6百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により1億5百万円増加した一方で、前連結会計年度にかかる期末配当により49百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、業績が概ね予想どおりに推移しているため、2019年3月期決算短信(2019年5月14日付)で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,321,021	2,020,904
受取手形及び売掛金	923,020	882,630
原材料及び貯蔵品	9,564	9,534
前払費用	16,586	50,240
未収法人税等	207	13,945
その他	182,929	263,041
貸倒引当金	△287	—
流動資産合計	3,453,041	3,240,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,749,025	9,813,491
減価償却累計額	△6,589,686	△6,730,138
減損損失累計額	△59,204	△59,204
建物及び構築物（純額）	3,100,133	3,024,148
機械装置及び運搬具	1,925,188	1,927,190
減価償却累計額	△1,817,148	△1,813,256
減損損失累計額	△586	△586
機械装置及び運搬具（純額）	107,453	113,346
土地	2,382,526	2,382,526
その他	472,451	515,096
減価償却累計額	△411,040	△426,221
減損損失累計額	△2,764	△2,690
その他（純額）	58,646	86,183
有形固定資産合計	5,648,760	5,606,205
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	72,156	116,108
無形固定資産合計	530,643	574,594
投資その他の資産		
投資有価証券	607,954	635,050
繰延税金資産	46,164	22,556
その他	311,263	355,489
貸倒引当金	△7,032	△6,097
投資その他の資産合計	958,350	1,006,998
固定資産合計	7,137,754	7,187,798
資産合計	10,590,795	10,428,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	435,471	387,551
短期借入金	425,000	640,000
1年内返済予定の長期借入金	405,000	305,000
未払費用	107,096	108,460
未払法人税等	74,351	5,022
賞与引当金	55,151	18,560
役員賞与引当金	6,000	525
その他	138,766	84,410
流動負債合計	1,646,838	1,549,530
固定負債		
長期借入金	2,135,000	2,069,000
役員退職慰労引当金	70,671	66,192
退職給付に係る負債	442,534	404,524
繰延税金負債	—	8,666
その他	122,141	123,755
固定負債合計	2,770,346	2,672,138
負債合計	4,417,185	4,221,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	1,917,666	1,973,958
自己株式	△159,858	△160,000
株主資本合計	6,061,657	6,117,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,575	69,273
為替換算調整勘定	41,376	19,344
その他の包括利益累計額合計	111,952	88,618
純資産合計	6,173,609	6,206,425
負債純資産合計	10,590,795	10,428,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業収益	6,213,849	5,714,729
営業原価	5,320,061	4,926,573
営業総利益	893,788	788,156
販売費及び一般管理費	671,738	648,653
営業利益	222,049	139,502
営業外収益		
受取利息	2,090	2,341
受取配当金	5,119	5,637
受取賃貸料	14,336	17,133
補助金収入	680	6,354
その他	12,719	16,229
営業外収益合計	34,946	47,696
営業外費用		
支払利息	26,792	29,287
支払補償費	1,893	481
その他	3,304	5,781
営業外費用合計	31,990	35,550
経常利益	225,005	151,648
特別利益		
固定資産売却益	5,257	939
特別利益合計	5,257	939
特別損失		
固定資産除売却損	1,339	1,314
保険解約損	1,630	—
特別損失合計	2,969	1,314
税金等調整前四半期純利益	227,293	151,273
法人税、住民税及び事業税	49,041	12,436
法人税等調整額	2,662	32,849
法人税等合計	51,704	45,285
四半期純利益	175,589	105,988
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,589	105,988

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	175,589	105,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,930	△1,302
為替換算調整勘定	△11,327	△22,031
その他の包括利益合計	△13,258	△23,333
四半期包括利益	162,331	82,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,331	82,655

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	6,130,797	36,703	22,915	6,190,417	23,432	6,213,849
セグメント間の内部営業収益又は振替高	10,316	260,705	765,689	1,036,712	70,729	1,107,441
計	6,141,114	297,409	788,605	7,227,129	94,161	7,321,291
セグメント利益	759,334	42,356	62,226	863,917	13,088	877,005

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	6,213,849
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,107,441	—
計	△1,107,441	6,213,849
セグメント利益	16,782	893,788

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額16,782千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	5,642,799	36,622	11,724	5,691,146	23,583	5,714,729
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△8,657	224,627	705,216	921,185	59,271	980,457
計	5,634,141	261,249	716,940	6,612,332	82,855	6,695,187
セグメント利益	759,319	27,185	52,310	838,816	13,162	851,979

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	5,714,729
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△980,457	—
計	△980,457	5,714,729
セグメント利益	△63,822	788,156

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△63,822千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。